

笠岡工業高校生を対象とした現場見学会へ参加しました！

令和6年5月21日

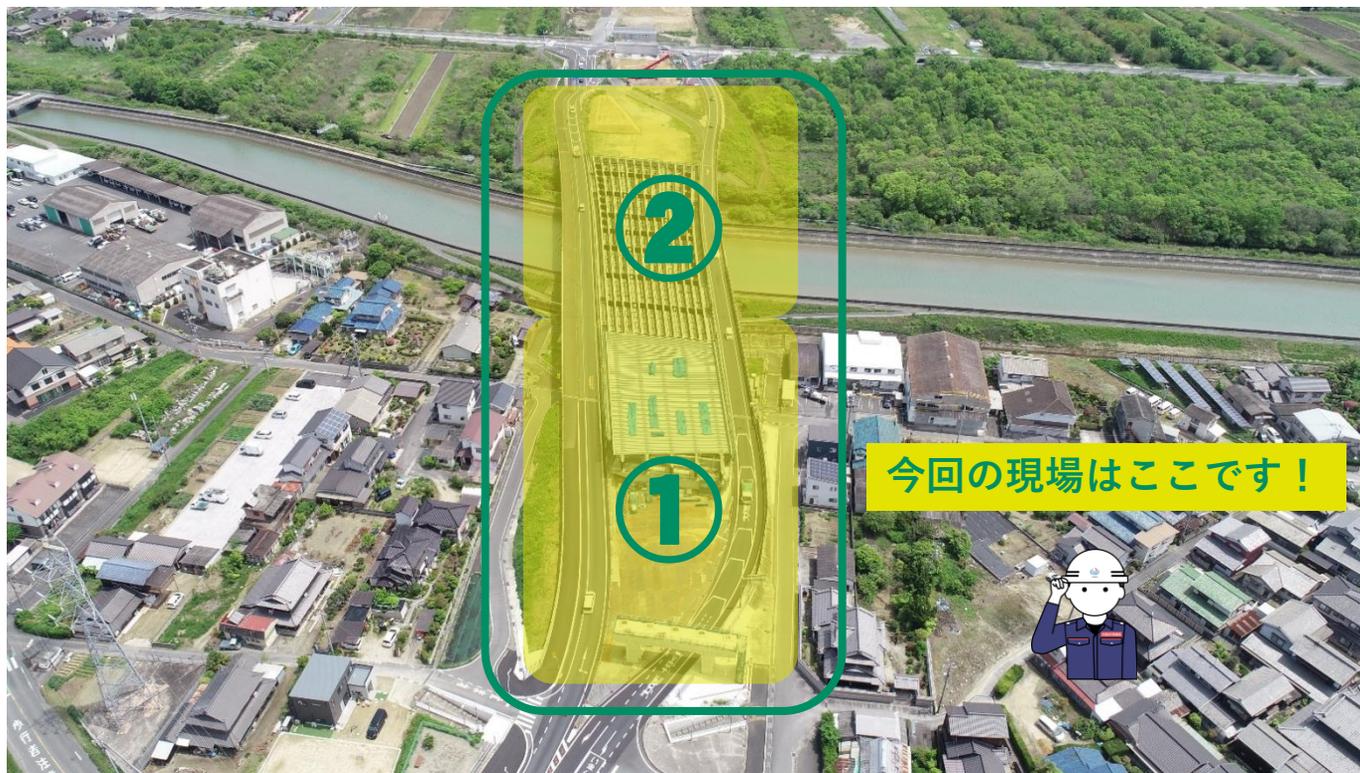


5月8日（水）に行われた、**県立笠岡工業高校**の生徒を対象とした、**笠岡バイパス**現場見学会へ参加しました。



見学場所

- ① 令和4年度笠岡バイパス入江高架橋第1鋼上部工事
- ② 令和5年度笠岡バイパス入江大橋RC床版他工事



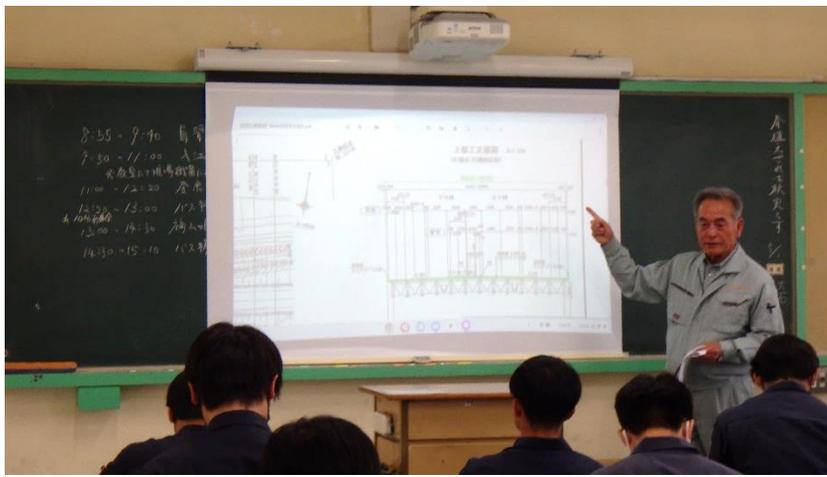
まずは笠岡工業高校で、笠岡バイパスの事業の説明や、各工事の概要を説明しました。



当事務所職員による事業の説明の様子です。



JFEエンジニアリング株式会社の担当者から①「令和4年度笠岡バイパス入江高架橋第1鋼上部工事」の工事の説明の様子です。



株式会社三幸工務店の担当者から②「令和5年度笠岡バイパス入江大橋RC床版他工事」の工事の説明の様子です。

次に、現場へと場所を移しました。

まずは橋桁の下から見学しました。

この部分の工事では、「トラッククレーンベント工法」で橋桁を架設していきます。

トラッククレーンベント工法とは・・・

橋桁をベント（仮の支柱）で支えながら、順次トラッククレーンによって架設していく一般的な工法です。

①の工事部分

ベント（仮の支柱）の部分です



こちらの部分は既に橋桁が設置され、RC床版工事をを行っています。

下から見上げると迫力があります。



②の工事部分

次に、橋桁を歩道側から見るために移動しました。



①の工事部分

歩道側へ移動しているところです



①の工事部分

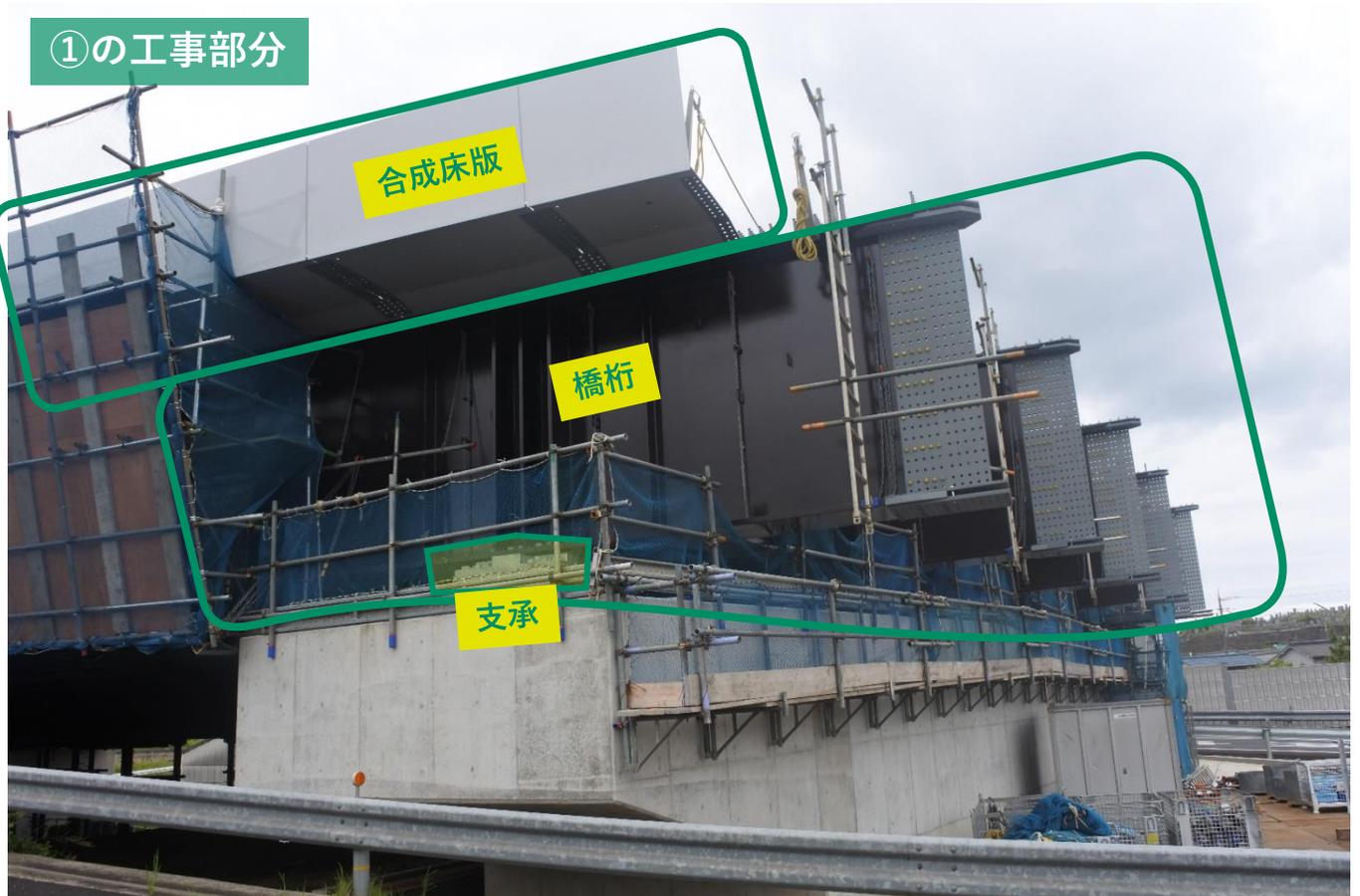
設置する“支承”が置かれていました

①の工事部分



歩道側から見学しています。

①の工事部分



ここに次の橋桁や合成床版を設置していきます。 “[支承](#)”は橋桁を支えています。

①の工事部分



この写真の橋桁の下が、先ほど下から見上げた部分になります。ベントがあった部分ですね。既に橋桁や合成床版（鋼板のみ）が設置されています。

②の工事部分



こちらの写真の部分は、下から見上げた時にRC床版工事を行っていた部分ですね。これからどんどん型枠や鉄筋を張って、コンクリートを流していきます。

床版とは・・・

床版（しょうばん）とは、橋の上を通る車両の重みを橋桁（はしげた）や橋脚（きょうきゃく）に伝えるための床板（ゆかいた）のことです。

床版にもいろいろ種類があり、RC床版や合成床版があります。

RC床版とは、鉄筋コンクリートを用いた床版のことです。

ベントを設置していた工事箇所では、合成床版を設置します。

合成床版とは、鋼板（デッキプレート）とコンクリート（スラブ）を組み合わせた床版のことです。

次は道路改良工事を行う部分の見学です。



橋の部分まで道路をすりつけるために、見えている橋台まで盛土を行っています。使用する土は15,000m³と多いです。



質疑応答のようす

見学会の最後には生徒からの質問もありました。

？ 説明された土を盛るのに何日かかりますか？

A 約50日程度です。

？ この橋の工事が終わるのは何年後ですか？

A 笠岡バイパスの事業としては、令和7年度開通を目標に工事を行っています。

生徒からの質問



今回の見学場所は笠岡工業高校からも近い場所で、普段の生活の中でも側道を通る事があるようで、今後は興味を持って通っていただければ嬉しいです。